

# 令和4年度 第12回定例庁議 議事報告

開催日時：令和5年3月9日（木）午後1時15分 開会

開催場所：笛吹市役所本館302会議室

## 【進行：政策課長】

### 1 開会

### 2 市長あいさつ

令和5年笛吹市議会第1回定例会の会期中であり、何かと慌ただしい時期と思うが、しっかりと業務を行ってほしい。

市役所の組織全体に関わることであるが、常に「報告」することを念頭に業務に当たってほしい。細かい判断をリーダーがするのは理解できる。しかし、その判断についても上司に報告しないと、課長も部長も知らない、最終的には市長の私も知らないという事態になる。これでは、組織として健全に機能しなくなってしまう。職員が市民や業者などに対して発言したことは、例え職員個人が判断したことであっても、それが市役所の判断だと捉えられてしまう。

また、市が行う事業については、新聞など様々なメディアで報道されることがある。メディアに対しては、誤った報道がされて市民の誤解を招くことのないよう、正確な説明を行うこと。

庁議においても、部局長が報告した方が良いと思うことがあれば、この場を利用して積極的に報告し、情報共有を図るようにしてほしい。報告の徹底について、課員にも伝えること。

### 3 協議・報告事項（議長：副市長）

#### (1) 人材マネジメント部会への職員の派遣及び報告について（総務部）

説明：総務部長

#### 【説明内容】

資料に沿って説明（総務課長、人事給与担当L）

派遣職員2人から研修結果を報告

**【質問意見等】**

(保健福祉部長)

通常部会への派遣職員は公募により人選するとあるが、自薦のほか他薦も可能なのか。

また、管理職部会への派遣職員は年齢の低い課長の中から公募により人選とあるが、年齢の目安はあるのか。

(人事給与担当L)

通常部会への派遣職員については、自薦を基本とするが、他薦でも受け付ける。

管理職部会への派遣職員の年齢については、目安等は定めていない。なるべく長く勤める職員を選考したいと考え、年齢の低い課長からとした。

(2) 笛吹市地域防災計画改定に伴う災害対策本部体制の見直し方針について  
(総務部)

説明：総務部長

**【説明内容】**

資料に沿って説明（防災危機管理長、防災担当L）

**【質問意見等】**

(保健福祉部長)

現行の災害対策本部体制は、平時の業務を基に組織されており、災害時においても、平時の所管に関係した応急業務に当たるという認識だが、新たな体制は、平時の業務とは切り離して、体制を再編するということか。

(防災担当L)

基本的には平時の業務を中心に検討する。しかし、災害時の応急業務は、現行の体制だと、課員だけでは人数が足りない班が生じることなどもある。このため、初動対応に当たる時の体制は、平時における所管だけではなく、もっと大きな枠組みの中で体制を考える必要がある。

したがって、発災直後の災害対応に当たる際には、応急業務の内容に合わせて体制を組む必要がある。例えば、現行の体制では、農道は農林土木課が、市道は土木課が対応に当たっているといるが、実際の災害時には、農道でも市道でも一様に対応しなければならない。現行の体制では、円滑に業務が進まない部分があるので、そのようなところを見直していく考えである。

なお、発災時においても、通常業務は業務継続計画に基づき継続して行うこととなるが、発災直後から継続しなくてはならない業務は限定的である。まずは、発災に伴う応急業務に優先的に当たってもらい、復旧復興が進むにつれて、徐々に通常業務も並行して行っていく考えである。

(保健福祉部長)

承知した。

(議会事務局長)

現行の体制は、統括局に被災状況等の情報を全て集めて、整理する中で、災害対応に当たることとなっている。一方、新たな体制では、住民部や福祉部など、それぞれに統括班が置かれているが、情報伝達方法などを含め、これらの統括班はどのような役割を担うのか教えてほしい。

また、多くの職員が指定避難所等管理職員として現場対応に当たるため、職員が手薄となり、部ごとに統括班を配置するのは難しいと感じたがどうか。

(防災担当)

統括班の詳細な役割等については、検討を進めている途中であり、まだ説明できる段階に至っていない。情報伝達方法については、紙ベースで行うのではなく、昨年度の防災訓練で使用した「パスカルモバイル」を用いて、各現場の職員から、直接現場のデータを登録してもらうような方法を含め、検討を進めている。

発災時は職員が手薄になるという御指摘については、指定避難所等管理職員は発災直後の避難所開設及び初期の運営にのみ携わることとし、その後は各地域の住民の方々が中心となり、避難所を運営していく予定である。そのため、避難所開設の対応に当たっている職員は、時間の経過とともに市役所に戻り、復旧復興業務に当たることを想定している。

(議会事務局長)

パスカルモバイルの話が出たが、大規模災害時には、インターネット環境が遮断されてしまうことも考えられるので、そのようなことも想定しながら検討してほしい。

また、指定避難所等管理職員は、時間の経過とともに、徐々に市役所に戻ってくるとのことだが、避難所運営に当たる期間を明確にしておいた方が、市民にも職員にも分かりやすいと思う。

(副市長)

この話は要望事項なので、担当課はこの意見を参考にしながら、検討を進めること。

- (3) 令和5年度版笛吹市国土強靱化地域計画アクションプランの策定について  
(総合政策部長)

説明：総合政策部長

**【説明内容】**

資料に沿って説明（政策課長）

**【質問意見等】**

質問意見なし

#### 4 その他

※令和4年度第2回随時庁議

令和5年3月17日（金） 午前9時30分～ 本館3階302会議室

※令和5年度第1回定例庁議

令和5年4月13日（木） 午後1時15分～ 本館3階302会議室

#### 5 閉会

午後2時35分閉会